

## 2020年度ジェンダー史学会第17回年次大会自由論題

部会 A 司会：小檜山ルイ（東京女子大学）

10:00—10:30

◆阿部奈緒美（奈良女子大学）

植民統治初期の台北における日本人産婆団体の「先進性」

10:35—11:05

◆石月静恵（桜花学園大学）

女性ネットワークの誕生——全関西婦人連合会の成立と活動

11:10—11:40

◆佐々木啓子（電気通信大学名誉教授）

戦前期女子海外留学・派遣の実態調査にみる女性リーダーたちのトランスナショナルな経験

11:45—12:15

◆洲崎圭子（お茶の水女子大学）

境界で「わたし」を語ること ——多和田葉子『旅をする裸の眼』一考察

部会 B 司会：池田忍（千葉大学）

10:00—10:30

◆河野夏生（奈良女子大学修士課程）

近代日本の「ムダ毛」イメージ

10:35—11:05

◆陣内恵梨（大阪大学博士課程）

神功皇后図像の再検証——大正から平成にかけて

11:10—11:40

◆佐伯綾那（大阪市立大学）

ビザンツ帝国における皇妃専用の産室「ポルフェラ」が帯びた象徴性の変容

11:45—12:15

◆富田裕子（長野県立大学）

イギリスの女性起業家アニータ・ロディックの生涯と業績

部会 C 司会：石川照子（大妻女子大学）

10:00—10:30

◆徐潤雅（立命館大学）

日本の女性解放運動とアジア——1970年代富山妙子の発信と連帯運動を手がかりに

10:35—11:05

◆趙杰（奈良女子大学博士課程）

鄭毓秀と『中華国民法典』——女性の婚姻自主権をめぐる

11:10—11:40

◆福永玄弥・郭立夫（東京大学博士課程）

中国とセクシュアリティの近代——「LGBT フレンドリー」と「病理」言説の間で

部会 D （パネル報告）

10:00—11:00

パンデミック期に再考する社会運動——フェミニスト歴史学者の視座から

◆長谷川和美（名古屋学院大学）

戦前の監獄改良運動と病

◆茶園敏美（京都大学）

占領初期における米軍の性病対策——フィリピン、韓国、沖縄、日本から

◆臺丸谷美幸（国立研究開発法人水産教育・研究機構）

1950-60年代米国におけるマイノリティ兵士のシティズンシップと人種間の闘争  
——パンデミック下の公民権運動の源流を求めて

◆柳原恵（立命館大学）

COVID-19 パンデミックにおけるフェミニズム運動の視座と実践の可能性  
——南米チリを事例として

司会者：松本ますみ（室蘭工業大学）

ディスカッサント：松本ますみ（室蘭工業大学）、小野直子（富山大学）

11:10—12:10

東アジアにおけるコリアン社会のジェンダー——映像を手がかりに

◆権香淑（上智大学）

ドキュメンタリー映画『血筋』から捉える中国朝鮮族の家族とジェンダー

◆山下英愛（文教大学）

北朝鮮映画『わが家の物語』（2016）にみる家父長制国家とジェンダー

◆梁仁實（岩手大学）

韓国ドラマ『愛の不時着』の日韓における受容

司会者およびディスカッサント：北原恵（大阪大学）